

大谷學報

第二十一卷 第一號

昭和十五年二月二十五日發行

西山國師の阿彌陀佛觀

安井廣度 (一)

報恩稱名に就いて

稻葉秀賢 (二)

武家家訓の宗教性

藤島達朗 (四)

二種深信論の史的研究(上)

桑谷觀宇 (五)

——特に前期學說の構造と其の傳承——

僧都禪瑜とその淨土教思想(上)

戸松憲千代 (八四)

——新出『新十疑論』の紹介——

表現愛の構造について

大友芳雄 (二九)

——木村素衛先生の『表現愛』を讀みて——

研究室彙報(三三) 昭和十四年度大谷學會決算書(三三)

大谷大學

大谷學會

大谷學會々則

- 第一條 本會ヲ大谷學會ト稱シ、事務所ヲ大谷大學内ニ置ク。
- 第二條 本會ハ佛敎學、哲學、史學、及ビ文學ニ關スル諸般ノ研究ヲナスヲ以テ目的トス。
- 第三條 本會ノ會員ハ大谷大學敎職員、學生及ビ本會ノ趣旨ニ賛同スル者ヲ以テ組織ス。
- 第四條 本會ハ左ノ事業ヲ行フ。
一、年四回雜誌『大谷學報』ヲ發行シ之ヲ會員ニ頒ツ。
二、毎年春秋二回公開講演會ヲ開ク。
三、隨時圖書ヲ出版ス。
- 第五條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク。
一、會長 一名
二、理事 二名
三、委員 若干名
- 第六條 役員ノ職責左ノ如シ。
一、會長ハ本會ヲ代表シ、委員會ヲ總理ス。
二、理事ハ會長ヲ補佐ス。
三、委員ハ庶務、編纂、會計ノ事務ヲ分擔ス。
- 第七條 役員ノ任期左ノ如シ。
一、會長ハ大谷大學々長ヲ以テ任ズ。

- 二、理事ハ大谷大學學監ヲ以テ任ズ。
三、委員ハ會長指名トシ、任期ハ二年トス。
第八條 會員ハ雜誌『大谷學報』ヲ配布ヲ受ケ本會主催ノ會合ニ出席スルコトヲ得。

- 第九條 會員ハ會費トシテ年額金參圓ヲ納ムベキモノトス。

- 第十條 本則ハ委員會ノ決議ニ依ルニアラザレバ變更スルコトヲ得ズ。

附則

- 一、本會ハ佛敎研究會ヲ繼承ス。
二、本會ハ本學ニ於ケル佛敎學、哲學、人文學各研究室所屬ノ研究會ヲ統合スルモノトス。
三、本則ハ昭和三年一月ヨリ實施ス。以上

大谷學會役員

會長	大須賀秀道	青山	獨網
理事	朽木 廣覺	山崎	法順
庶務委員	阿部 現亮	鈴木	弘
編纂委員	安井 廣慶	山口	益
	德重 淺吉	大庭米治郎	顯正
	正木 淨教	雨宮 尙治	野上 俊靜
	上村 幸次	山崎	法順
會計委員	吉田嘉一郎		

前號目次

法華經の繪入版經について

日下無倫

韻鏡管見

龜田次郎

スピノーザに於ける神の原因性と意志自由の問題

——カント及びハルトマンとの聯關に於て——

立花勝

源氏物語の物語論について

多屋頼俊

攝論宗の日本傳來に就て

富貴原章信

韻鏡諸本目録

大谷大學圖書館編

新刊紹介 研究室彙報 交換寄贈圖書目録

大谷學報第二十卷總目録

大谷學報

四年回發行

一月四月七月十月

會費 一年額 金參圓(但前金送料共)
 一部賣 普通號 金八拾錢(送料六錢)
 定價 特輯號 隨宜申シ受ク(送料六錢)

廣告料

普通頁	一頁	半頁
表紙裏	貳拾圓	拾貳圓
	參拾圓	拾七圓

昭和十五年二月二十日印刷
 昭和十五年二月廿五日發行

(第二十一卷・第一號)

不許複製轉載

編輯者 大谷學會

右代表者 青山綱

印刷者 須磨勘兵衛

印刷所 大谷大學出版部

京都市北小路通新町西入

印刷所 大谷大學出版部

京都市烏丸頭大谷六條内

發行所

京都市烏丸頭
 大谷大學内

大谷學會庶務部

電話西陣一六四〇番
 振替大阪六七一八五番